



■ 太分県指定有形文化財

建物の特徴としては、「表玄関」（客人用）、「内玄関」（家人用）に分けられた玄関や、天井の棧が床の間に直交する「床刺しの間」が挙げられます。



■ 国登録有形文化財

田中平五郎は、弘化4年(1847年)、日村藩儒学者井田九念の長男として生まれました。幼少の頃から秀才の誉れ高く、慶應義塾卒後、三蔵に入りました。その後、前編経塾の一人である「管事」となり、三蔵大期をえました。

図書館は昭和22年、旧臼杵町に移管され、昭和45年（1970年）に現在の本館が開館した後は、日本館は民俗資料館として活用されて

